

刊夕日八月七

# 常磐毎日新聞

定価一部五銭 全五拾銭 郵費五拾銭  
廣告料五拾五銭 電話一五五五拾銭  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞株式会社

## 警備市制調査班

### 視察日誌(五)

第二日(木) 晴

九日午前七時五十分熱海驛發、午前八時十九分沼津驛着、乗合自動車で市役所を訪問した。案内された應接間は、平役場の町長室兼應接室に比べると、平役場と山手の村役場位の差は充分あつた様に思はれた、助役小久江文次郎氏が専ら説明の任に當てられた小久江氏は應接頗る滑らかで實に感じのよい人だつた。

1 汚物掃除  
未だ塵芥焼却場がないので、昭和十年度の豫算に二萬三千圓を計上して建設中である(参考書類第八號及び第九號参照)

2 火葬場  
市營の火葬場はあるが平と同様に石炭を使ふので焼くのに相當な時間を要する使用料は一ヶ年三千圓位ある。

3 二業地

### 二業地は一廓をなしぬ。

4 糞尿汲取  
近隣の農村で汲取つて呉れるので、面倒な問題は起らぬ静岡は汲取人にくみ取料をいくらか出す相だが、沼津ではくみ取人にくみ取料を拂はないし、またくみ取人から肥料代も取らない

5 下水道  
未だ下水の設備はない。

6 隔離病舎  
隔離病舎は沼津市外七ヶ町村の組合病院になつてゐる、外觀の壯麗なよりは

★0000000000★  
○明日の献立○  
【朝】味噌汁 馬鈴薯 小付 福神漬  
【書】ふくめ煮 高野豆腐 茗荷と若芽の酢物  
【晚】ビーフデブルステーキ サラダ ユデ玉子 胡瓜 フレンチドレッシング

内容の充實してゐるのに驚いた、先づ理化學試験場、病理試験場、細菌室の設備がある、沼津市には静岡縣の細菌検査所があつて、チフス患者が恢復期に便の検査をして、二回共にチフス菌が陰性ならば全快したものと見て退院させるのであるが、組合病院の細菌室で検査したものは、縣の細菌検査所で検査したものと同様の効力があるのである。隔離病舎では傳染の根原である、炊事場の設備は重要問題の一つだがこゝでは炊事場、看護婦食堂、附添人食堂、附添人休憩室、食器消毒所、配膳所など整然としてゐる。浴室の完備もまた隔離病舎になくならぬものゝ一つだが、こゝでは病院關係者の浴室、附添人の浴室、患者の浴室と分離して設備されてゐる。E式真空消毒装置(東京特許消毒株式會社製)や消毒釜も二千八百圓かけた完全のものがある。その他萬端かゆい所に手のとぐやく様に設備されて、實に羨望に堪えなかつた。院長の話に依れば實際やつて見るとこれ程の設備の必要がない相だ(参考書類第十號参照)一ヶ年の經費は昭和十年の豫算で一萬二千四百五圓である。醫院は院長一人きりだ、年俸二千五百圓、豫備加後備かの三等軍醫正とが大部の老人の様に受けた薬剤師は一人月給四十圓である看護婦は三人で平均三十三圓である。一萬二千四百五圓の豫算の中で組合市町村の負擔金は八千九百九十五圓が沼津市の分賦金は千分の六百五十の五千八百四十

七圓である(参考書類第十 一 参照)

僅かの氷で非常に早くよく冷える!

## 丸ほん冷蔵庫

御家庭にも御營業にも最も理想的な冷蔵庫……

今年の外壁の絶縁装置を特に完全に改良を加へましたので、より一層僅かの氷で非常によく冷える様になりました。内部の構造にも一大改良を加へましたので排水が良くすべて便利になりました。貯蔵される期間も延長されました。価格は……精選した材料を完備した製法に依る大量生産の爲良品を廉價に御提供する事が出来ます。

丸ほん新家庭型……金十五圓より  
丸ほん新大型……金七十圓より  
各種豊富陳列(御一覽を願ふ)

## 株式会社(本)丸ほん商店

營業所 平町三丁目一六 電話三三三九番  
製作所 平町新田前 電話一八二番  
振替東京二一七二四

## 株(債)券

株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下サイ

尚御希望ノ方ニハ當店獨特ノ「野線上海ヨリ見タル新東觀測」ヲ御送シマス是非一度御覽ヲ願ヒマス  
株式債券現物賣買

## 丸井株式会社

平町田町 七十三  
電話 四六番

## 外務員募集

壽城セメント會社特約店



啓城平町五丁目 電話九番九九  
良品廉賣に勝る商略なし  
確實敏捷は人の生命なり

別製氷おた(豆)アイスクリーム あづきアイス ミルクゼーキ  
クリームソーダ水 氷あづき ソーダ水色々  
冷コーヒ(み)豆  
御土産にクリームもなか

## 魚清食堂

電話六三二

毎度御引立を戴いてゐる  
藤寅では例年通り  
冷タイ美味い飲物

アイスクリーム アツキアイス  
ミルクゼーキ ソーダ水  
ミツ豆 クリームソーダ  
其他氷水各種

相初めました是非夏の夕の御散歩  
歸へりに御立寄り下さい  
平一丁目

## 不寐寶

電話一四一

## 頭痛で不快の方

二三回で不思議に快癒する

## フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)

精神)力減退  
陰萎 早漏  
神經 衰弱  
憂鬱 症  
記憶力減退  
老衰 疲勞  
視力減退  
價二圓、三圓、五圓、送料十四錢、殖民地二十七錢嚴封急送  
調劑元福島縣浪江町 松齡堂田村本家

ダン(精)力付く回春秘藥  
許仙方大補松齡湯(散藥)  
本劑ハ當家相傳ノ秘方藥ニシテ衰退セル  
性的機能ニ活動力ヲ賦與シ又精力不足タル  
元氣消沈ニ對シテハ補益ノ効ヲ學ブ  
作用ヲ擴大シテハ補益ノ効ヲ學ブ  
症狀ノ人々ハ本劑ヲ服用ニ依リテ一日モ  
早ク回春ノ悦ヲ得ラレヨ! 特ニ中老年ノ  
方々ニ御勵メスル所以ナリ



# 地下採掘の問題に善處

## 委員五名を擧ぐ

昨日の町會に議長が指名

平町の地下採掘に關する礦山監督局側の解決私案三ヶ條の内何れを選びべきかは相當權威ある専門技術家の鑑定に委嘱すべく先般の町議協議會に於いて満場一致を以つて決定した事は既記の如くであるが右の決議に基き昨日の町會に於て五名の委員を擧げ町當局を補佐

# 新妻警女教諭が籠球指導中怪俄

約半年はスポーツ禁物

運動部が大失望

磐城高等女學校教諭新妻久満氏は昨七日午後四時頃同校々庭で選手に籠球の指導中跳躍の際左足アキネス筋を切断し安齊醫院に入院したが全治三週間の見込で約半年位はスポーツ禁物とすることに大會を前に控へ此の好指導者を失つた事として運動部の失望は非常なものである

# 郷社昇格

諏訪神社奉告

奴行列で有名な渡邊村諏訪神社は本八日盛大な郷社昇格奉告祭を執行した

# 理髮店の縣下表彰

来る十三日相馬中學校講堂に催される縣下理髮組合總會に於いて優良組員として表彰される郡下の理髮店營業者は左記五名である  
平安齊寅治、野崎渾太郎、平塚トミ、植田根本作之助、四倉菅原庄次郎

# 汚水放流

改修に迫る

勿來町地内蛭田川改修工事は九年度に於いて打切られ

# 家庭を歴訪

入學の勧誘

既報本月一日より開校した平青年學校は收容人員に幾分不足を告げて居るので本日菅波第一校訓導及び在郷軍人分會役員の一行為區

# 梅雨中も相當に太陽の光を見た

農作物には最も適當 気温は多少ひくい

梅雨明けの平地方の気温は例年よりも平均五分位低溫と見られて居るが梅雨中も「雨後晴」か「曇小雨後晴」と

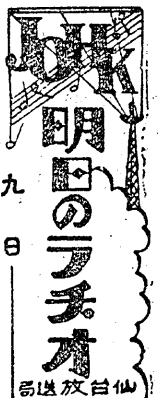
# 千鳥足で線路を徘徊し列車に轢かる

徘徊し列車に轢かる

一杯機嫌の老爺

平裁判たより

赤井村大字赤井字日渡二三農清父會川龜之助(六八)は昨七日夜九時半頃泥酔して赤井驛北方五百米附近磐越線路を家路に急ぐ途中平驛發三十三號旅客列車が後方より進んで來り運轉手が急停車したが間に合はず腹部を轢断されて即死した



明日の天気

今晚も明日も南東の風曇時々雨

今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「大阪の夏祭」南木芳太郎  
後六、二五 基礎英語講座  
岡倉由三郎  
後七、三〇 講演「ベルリ提督の日本近海に於ける行動に就て」海軍大佐關根郡平  
後八、〇〇 管絃樂「イタ」  
武内大造

明日の部  
前六、三〇 基礎獨語講座  
武内大造

後六、〇〇 子供の時間  
お話「音の感じを現はす言葉」高野瀧  
後六、二五 青年の時間  
「無人島漂流体験談」中川倉吉  
後七、三〇 科學趣味講座  
「研究室雜談」浦本政三郎  
後八、〇〇 レコード音楽  
歌謡曲  
後八、二〇 漫才「數字問答」御園ラッキー 鹿島セブン  
後八、四〇 ラデオコメデ「紙屑屋」ビエルブリアント  
後九、一〇 河鹿鳴聲實況  
群馬縣下仁田町錦川溪流より中繼

# 東京市長から二百圓貰へる

キ印青年の獨りざめ

昨日九時頃平署受付係へ東京市長に二千圓貰ひに行くのだから旅費を貸してくれと罷り出たボロ單衣の青年が突然割れる様な大聲で相馬二偏返しを唄ひ初め

# 新築中の家屋が子供の弄火で焼失

子供の弄火で焼失

川前村字桶賣農村上惣助方新築中の家屋より去る五日午後一時頃發火全焼したが原因は子供の焚火

平職業紹介所報告  
求人を求める方  
△商店員 二十迄 尋卒  
△給料面談  
△海産物店員 四十迄 尋卒  
△兄守 十五迄 委細面談  
△配達夫 二十前後 尋卒  
△月十圓  
△回職を求める方  
△女中 十九才 高卒  
△店員 二十才 高卒  
△洋品店員 十八才 高卒  
△自轉車工 十七才 高一

空には星 地には銀線  
タクシー界の最高標準を行く御待乗の  
1935年式  
高級 ボンテアク 今朝到着  
何卒御試乗を御待申して居ます  
平 前  
昭和 タクシー  
電話 340 343

# 井坂醫院

平町 田町  
電話五五九番

# 看護婦急派

求めに應じ

# 平看護婦會

平町南町  
電話三〇七番



# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島樞史  
(著) 野口

## 運命と戀 (八)

人斬り良順は、本能的に十本の指さきを動かし、猫のやうにねらひを定めて居る。

だが、どうも、いつもの人斬りのやうに、鋭敏に相手に飛び掛かれぬ。何となく出足がにぶるのだ。

と、思ふまでもなく、理由はあきらかだ。自分の傍らに在るパークスが邪魔だ。

勿論、人を殺すことにかけては、なみ／＼ならぬ妙術をわきまえて居る良順のことだ。

大久保ののど佛に手をかけ、一方の手を、パークスのそれにのばすことぐらゐ何んでも無かつた。

しかし、それでは、數寄屋河岸の辻君のおとわに會ふことが出来ぬ。いまの、良順の意志感情は、明治白浪一黨になり代つて、大久保を殺さうとするよりもおとわに會つて、ふたりしてウエルズをやつつけたいといふ、その方に傾いてゐるたま／＼こんな家で……

久保にあふことが出来たら胸のどこかにかくれてゐた白浪五人男としての意志感情が動いたのだ。

おのづと思案が顔にあらはれる。  
『おふくしやん、貴女なにを考へこんでゐるかな』  
パークスは、大久保との話半に、振りかへつて良順の顔を覗きこんだ。  
『いゝえ、オホ、』  
事もなげに笑つてみせたがそれで、すつかり、大久保の、のど佛をねらふ、いとも神經質なまへがくづれてしまつた。



おとわと喜をわから合ふ方が、よつぽど情味が身にしみてうれしい。

『とにかく、西郷さへ内閣を留守にしてくれさへすれば、それで、事もなく、日本も、貴官の御指導によつて、歐洲諸國の風にならひ長足に文明開化に進むことが出来ると、いさゝか自信して居ります』  
パークスは、うれしげに……

『その事、あなたや、伊藤さんの様に、進んだ考へを持つて居られると、日本もやがて、英國の文明に接近できるといふものです。』  
『で、西郷の外遊が、一日も早い方がよろしいですがどうかその邊御推察になつて、御勸誘願ひたいものです』  
『よろしい、萬事引受けました』  
ふたりの密語が、やつと

良順の耳にはいつた。  
『おや、西郷の排斥運動を大久保め、して居ると、心に眩き、じいと大久保の顔を見た。しかし西郷とはどれほどの人物か、日本にとつて、どれ程重要な男かぬすつと渡世の人斬りにはわからない。』  
たゞ、西郷といふ人が何んとなく氣の毒に思はれた同時に、大久保の陰性が、新に憎悪されてきた。

## 外科 X 光線科 外科 性病科 外科

平町田町  
安齊外科醫院  
電話四七五番

石炭一〇〇パーセント  
サーヴキス

時節柄 値下げ!  
ダンゼン

一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢  
特塊同 金參拾五錢

品質が優良 デナケレバ  
目方が正確 (高イモノニナリマス)  
此の点は當店を絶対に御信用願ひます  
◎市内は一俵より配達致します

電話三七番  
阿部石炭商店

## 御挨拶

初夏の折柄皆様には御清適の程慶賀致します  
毎度ハイヤーの御用命を賜はりましても車輛不足の爲御客様に充分の御満足を得難い事誠に遺憾に思ひまして今度増車認可を得ましたので御客様の御歩みに依りまして最もスタイルのスマートにして快走百パーセントの三十五年流線型ダツチプラザの御用命に應じたいと思ひます何卒倍舊の御愛顧を賜りまして是非試乗の程御願ひ申上げます、就きましては弊自動車部も皆様の絶大なる御後援御愛顧に依りまして茲に満十三周年を迎へました之偏に皆様の御厚情に外ならざるはなく部員一同厚く御禮申上げます、就きましては當タクシ一部、擴張と供に満十三周年の記念として皆様の御厚情に酬ゆる爲来る(八月二十九、三十日)の兩日を「謝恩感謝デー」と致しまして左の方法を以て御厚情に對する意を表したいと思ひます  
貸切御用命の方全部本日より謝情抽籤券一枚宛贈呈

抽籤日 昭和十年八月二十九日  
當選者 五十名様 第一班 二十五名様 第二班 二十五名様  
期日 昭和十年八月二十九日(第一班) 三十日(第二班)  
場所 茨城縣磯原海岸天妃山清遊場 (遊覽バスにて)

平町 尼子自動車商會  
電話六四〇番

## 藥局開設御通知

當店康雄儀明治藥學專門學校卒業後東京帝國大學病院模範藥局に勤務致居候處今回皆様よりの切なるお奨めに依り藥局増設のため店舗改築致居候間當分裏にて營業を續け居候失禮乍ら紙上を以て此段御通知申上候御用の御方様は當宅裏に御廻り被下様折入つて御願申上候裏にて御不便の不行届の点は暫時御勘辨之程奉懇願候

平町古鍛冶町十番地縣社ノ下  
阿部康藥局  
電話四四番  
店主 阿部康五郎  
明治藥學士 阿部康雄